

---

第 37 回 TFU 実学臨床研究セミナー  
在宅介護から顕在化する高齢者を取り巻く家族問題への支援

---

■日時:2024 年 9 月 26 日(木)18:30-20:00

■講師:

折腹 実己子(宮城県社会福祉士会会長)

石附 敬(実学臨床研究セミナー実行委員/東北福祉大学総合福祉学部 准教授)

■お申込み:peatix よりお申込み下さい(すでに「年間継続参加券」をお申込みの方は不要です)。

<https://tfu-jitsugaku-seminar24.peatix.com/>

★広報チラシは以下よりご入手ください。

<https://drive.google.com/file/d/14rvuKyPb1IcEZIF3ZymgbuSmfh6GUkJo/view>

【第 37 回セミナーの趣旨】

超高齢、人口減少社会にある我が国においては、人口構造の変化を背景に家族機能の脆弱化が進み、さらに団塊の世代が後期高齢者になる 2025 問題がいよいよ現実となる。

高齢者を取り巻く 8050、老老介護、認認介護などに象徴される家庭内の問題は在宅介護の必要性から顕在化することが多く、その際に専門職、関係機関の役割が重要である。

本セミナーでは日本の人口の高齢化の現状とそれに伴う高齢者と家族を取り巻く諸問題を整理した上で、

具体的なソーシャルワーク実践の紹介を含めて、高齢者とその家族への支援の課題と問題の予防に向けたつながり作りの重要性について考える。

キーワード:8050、老老介護、多職種連携、地域包括ケア

■福祉実践・実践研究への手がかり

対象者の属性に対応する専門的な支援体制では対応が困難な、多様で複雑な支援ニーズに対応するため、現在、重層的支援体制の構築が進められています。

個人の支援をきっかけに出会った家庭内の複雑で多様な支援ニーズに対して、支援者個人の視点からどう対応していくことができるのでしょうか？

多分野多領域にまたがる専門職・機関のネットワークの構築など実践的取り組みが求められています。

■講演者紹介

折腹 実己子(おりはら・みきこ)

東北福祉大学卒。特養施設長・地域包括支援センター所長等々勤務。

2018 年より宮城県社会福祉士会会長。

石附 敬(いしづき・たかし)

東北福祉大学総合福祉学部 准教授

特別養護老人ホームや養護老人ホームで生活相談員、国立長寿医療センター研究所流動研究員などを  
経て、2013 年から本学教員として勤務。

福祉現場など実践の場のイマを見つめ、これから求められる対人専門職人財の育成や成長、キャリア形成を考える機会になれば幸いです。

ご関心のある多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

2024年9月5日

★-----★

TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会 事務局

(東北福祉大学 実学臨床教育推進室内)

〒981-8522 仙台市青葉区国見1丁目8-1

E-mail [kenkyu-seminar@tfu.ac.jp](mailto:kenkyu-seminar@tfu.ac.jp)

TEL 022-717-3359 FAX 022-301-1293

※お問合せは平日 8:30-17:30 にお願ひします(土日祝不在)

★-----★